



道農連 2018年3月の月間活動トピックス

2018年(平成30年)3月30日発行(第61号)

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

TPP11及び日EU・EPA協定国会批准反対を決議／全道農民代表者集会

道農連は3月6日、札幌市内の北海道自治労会館で「TPP11 及び日EU・EPA協定の国会批准に反対する全道農民代表者集会」を開催し、全道から各地区・市町村組織の代表者ら約160名が結集した。集会では、『北海道農業を犠牲としたTPP11 及び日EU・EPA協定の国会批准に反対する決議』を満場一致で採択し、両協定の国会批准に反対する声をあげた。

また、北海道大学農学部東山寛准教授が「TPP11 及び日EU・EPA協定の実態と課題」について基調報告を行い、日本が直面する「メガFTA時代」への問題点を指摘し、今後の日本の農政について「本来の農政のあるべき姿を訴えていけるのは道農連だけ。我々も売られたケンカに、皆さんとともに対処していきたい」と締めた。

さらに、農業者を代表して水田農家の長谷浩幸氏(空知農民連合書記長)、畑作農家の佐藤廣幸氏(北見地区農民連盟副委員長)、酪農家の中島武広氏(天北地区農民連盟書記長)の3名が意見表明を行い、官邸主導の農政から現場主義農政への転換などを訴えた。

TPP11等の対策中央行動を実施

道農連は3月8日、西原正行委員長ほか三役・各地区代表8名で、6日に開催した「全道農民代表者集会」の決議に基づき、与野党の農林関係議員や道選出の国会議員に要請した。併せて、上京団は平成29年度補正予算で措置された「畑作構造転換事業」について次年度への予算繰越や事業内容の改善などについて、農水省政策統括官付地域作物課と意見交換を行った。

3月の活動記録(上記以外)

- 1日 道てん菜協会企画調整部会
- 8日 TPP11を許さない!3.8官邸前行動
- 9日 合成洗剤追放北海道連絡会定期総会
- 12日 北海道GAP導入推進セミナー
- 14日 道てん菜協会役員視察研修会(～16日)
- 15日 道農業青色申告会事務局会議
- 19日 第4回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 23日 シンポ「北海道酪農の歩みと将来展望」
北海道スマート農業セミナー
- 24日 種子法緊急フォーラム「私たちの食、種はどうなる？」
- 28日 道てん菜協会理事会

各業態別対策委員会で春闘方針などを議論

道農連は、3月22日に畑作・野菜対策委員会(西原正行・対策委員長)、26日に酪農・畜産対策委員会(佐藤正光・対策委員長)、28日に米・水田農業対策委員会(大久保明義・対策委員長)を開催した。各対策委員会では、副委員長を選出し、畑作・野菜は北見地区の佐藤廣幸氏(もう1名は後日上川より選出)、酪農・畜産は十勝地区の出嶋辰三氏、米・水田は上川地区の中家彰氏がそれぞれ就任した。

春闘対策における提言項目については、次回の各対策委員会で整理し、6月下旬に開催予定の第3回執行委員会で最終的に決定する。なお、中央対策行動は7月上中旬に実施する予定とした。

4月の活動予定

- 2日 道農業青色申告会会計監査
- 6日 道農業青色申告会第9回定期総会
- 9日 道てん菜協会企画調整部会
- 10日 天北地区農民連盟定期総会
- 11日 道「農」ネットワーク事務局会議
- 17日 三役会議
第2回執行委員会
道てん菜協会理事会
- 23日 第1回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください
お申込み・お問い合わせは道農連事務局 (TEL:011-241-5416)